

社会福祉士現況調査結果について

(社) 日本社会福祉士会
会長 村尾 俊明

2006年12月から2007年1月にかけて実施した、本会会員を対象とした社会福祉士現況調査結果について報告する。

- 調査時期：2006年12月20日～2007年1月20日までの期間
- 調査方法：日本社会福祉士会会員約24,000人から3,000人を無作為抽出
調査票兼回答用紙を郵送し同封した返信用封筒で回収
- 調査対象者数 3,000名
- 回答者数 1,518名(50.6%)
- 調査項目
 - あなた自身について 9問
 - 勤務状況について(1)現在の職場について 13問
 - (2)転職について 4問
 - 研修等について 3問
- 調査結果

1. 社会福祉士の全体像(調査結果の概要)

(1) 資格取得動機について

- ・取得動機は、「福祉専門職の基礎資格として」が約80%と圧倒的に高い。続いて、「相談援助活動の重要性から」が約40%となっている。
- ・一方、「職場・学校で進められて」が約9%、「まわりの者がとっているから」が約3%であり、受け身的な回答は低い。

多くの社会福祉士が主体的に社会福祉専門職になるという目的意識をもって、資格を取得したものと考えられる。

(2) 職場における社会福祉士の採用条件について

- ・社会福祉士を「採用条件に入っている」もしくは「今後入る可能性がある」職場が約50%、「採用条件に入らない可能性がある」もしくは「わからない」が約50%となっている。
- ・「採用条件に入っている」職場と「採用条件に入らない可能性がある」職場の年収はともに200万円以上400万円未満が最も多く、それぞれ約50%、約40%となっており大きな差はない。

(3) 資格取得による職場での待遇の変化について

- ・就職する前に資格を取得した者を除くと、資格を取得しても「特に変化無し」が約65%を占め、資格手当の支給または給与の増加等、待遇が改善された者は約20%に過ぎない。

社会福祉士資格を取得しても、職場における待遇(給与等)が改善される傾向はあまり見られない。

(4) 職場の満足度について

- ・満足している割合が過半数を超える項目として、「現在の仕事の内容」(約 60%)、「労働時間や勤務形態」(約 55%)、「職場の人間関係」(約 55%)であった。
- ・一方、不満である割合が高い項目として、「賃金や各種手当」(約 45%)、「人材育成や研修機会」(約 40%)、「施設運営やサービス方針」(約 35%)であった。

(5) 専門性が職場で活かされているかどうかについて

- ・「専門性が活かされている」と感じている者が約 45%であった。過半数の約 55%が「専門性が活かされていない」と「どちらとも言えない」と回答している。
- ・採用条件として社会福祉士の資格要件が入っている職場でも、「専門性が活かされている」と感じている者は 60%程度。
- ・「専門性が活かされている」と感じている者の職場に対する満足度は高い。特に「現在の仕事の内容」の満足度が高くなっている。
- ・「専門性が活かされていない」と感じている者の職場に対する満足度は低く、特に「人事育成や研修機会」「賃金や各種手当」「施設運営やサービス方針」が低い。

社会福祉士が職場に求めるものは、専門性が発揮できる立場の確保と給与等の待遇面の改善と推定される。「専門性が活かされていない」と感じている社会福祉士が過半数を占め、その者の職場に対する満足度は低い。賃金面のみならず、自己研鑽がしにくい、意見が反映されにくいこと等が不満となっているものと推定される。

(6) 勤務実態について

- ・雇用形態は、常勤が 80%を超え、非常勤やパート等は 15%程度である。
- ・勤務形態は、日勤のみが 80%を超え、交替勤務は約 10%である。
- ・年収は、200 万円以上 400 万円未満が最も多く約 45%を占める。次が 400 万円以上 600 万円未満で約 25%である。
- ・年齢別では、20 歳代で 200 万円以上 400 万円未満 (約 70%)、30 歳代で 200 万円以上 400 万円未満 (約 50%)、40 歳代で 400 万円以上 600 万円未満 (約 40%) が最も多い。

全産業における労働者の平均年収 453 万円 (年齢 40.7 歳) と比較すると、大学卒業者で、資格取得者で、常勤であるにもかかわらず、年収は低額である。

(7) 転職について

- ・資格を取得し関連業務に就いた後、転職した者は約 30%である。
- ・転職の理由としては、「他に良い仕事が見つかった」(約 40%)、「労働条件、処遇に不満」(約 30%)が高い。
- ・転職によって年収は下がる傾向にあるが、その一方で職場の満足度は高くなっている。

転職によって、収入面以上に、専門性を活かせるやりがいのある職場を求めている様子がうかがえる。

(8) 研修等について

- ・約 60%が1年間に研修を3回以上受講している。
- ・研修テーマとしては、「権利擁護」が最も高く（約 40%）、次にケアマネジメント（約 30%）となっている。
- ・職場の満足度が高いほど研修受講回数が多い傾向が見られる。

自己研鑽への意欲は高いことが伺える。ただし、職場の環境による影響もあり、職場への満足度が高い職場にいる社会福祉士は、より自己研鑽に励んでいることが推察できる。

2. 2000年度のデータとの比較

本会は2000年度に本会会員以外を含む社会福祉士全数に対する調査を実施している。そこで、今回の現況調査では比較できる質問項目を設定した。以下に比較結果を報告する。ただし、今回の調査は会員のみを対象のサンプリング調査のため母集団が異なる。以下に示す比較においては、その点を考慮して見る必要がある。

- ・専門性が活かされているかどうかでは、専門性が活かされているとの回答が約 10%上がった（33%→45%）。
- ・社会福祉士が採用条件であったかどうかは、採用条件に入っているとの回答が約 10%上がった（17%→31%）。
- ・その一方で、資格取得による待遇の改善や年収には殆ど変化が見られない。
- ・受講した研修テーマでは、「福祉経営」（7%→11%）、「地域福祉計画」（5%→10%）、「ネットワーキング」（4%→10%）が倍増している。

職場における社会福祉士に対する認知度は、業務内容や採用条件から見ると、未だ低いままではあるが向上の傾向は見られる。一方、資格取得による勤務形態や年収等の待遇の変化は見られず、その面では低いままである。

3. まとめ

社会福祉士は、資格取得時から専門職としての意識は高く、その力量を発揮する場を求めている実態が見える。その一方で、職場がその力量を活かす場の提供が不十分であり、また専門性に対する評価が低く、その結果職場待遇が低いと推察できる。

「介護福祉士制度及び社会福祉士制度の在り方に関する意見」で提示されたように社会福祉士には様々な役割が求められるが、それを担うためには職場において社会福祉士が定着し機能することが必要である。

そのために、本会は社会福祉士の職能団体として、社会福祉士の力量の向上にむけて研修基盤を充実させ、研修の機会を提供していく予定である。同時に、職場においては、任用条件として明確にする等、専門性が発揮できる場の確保と給与等の待遇改善を推進することが望まれる。

参 考 資 料

1. 単純集計（別紙1参照）

2. 2000年度社会福祉士現況調査との比較（別紙2参照）

- (1) 専門性を活かしているか (2) 採用条件 (3) 勤務形態の変化
(4) 年収 (5) 資格取得動機 (6) 研修受講回数 (7) 受講した研修

3. クロス集計（別紙3参照）

(1) 年収に関するクロス

- ①問1（性別）×問17（年収）
- ②問2（年代別）×問17（年収）
- ③問11（勤務先）×問17（年収）
- ④問12（就業先）×問17（年収）
- ⑤問13（職種）×問17（年収）
- ⑥問15（雇用形態）×問17（年収）
- ⑦問19（採用条件）×問17（年収）

(2) 転職に関するクロス

- ①問2（年代別）×問23（転職有無）
- ②問23（転職有無）×問17（年収）

(3) 職場満足度に関するクロス

- ①問17（年収）×問22（職場の満足度）
- ②問19（採用条件）×問22（職場の満足度）
- ③問20（専門性を活かしているか）×問22（職場の満足度）
- ④問23（転職有無）×問22（職場の満足度）
- ⑤問27（研修受講回数）×問22（職場の満足度）

(4) 専門性に関するクロス

- ①問19（採用条件）×問20（専門性を活かしているか）

2006年度 社会福祉士現況調査結果

調査対象者 3,000名

アンケート回収数 1,518名 (回収率50.6%)

I. あなた自身について

問1 あなたの性別はどちらですか。

- ① 男 616名(40.6%)
- ② 女 898名(59.2%)
- ③ 無回答 4名(0.3%)

問2 あなたの年齢は何歳ですか。

- ① 20歳代 267名(17.6%)
- ② 30歳代 530名(34.9%)
- ③ 40歳代 331名(21.8%)
- ④ 50歳代 296名(19.5%)
- ⑤ 60歳以上 91名(6.0%)
- ⑥ 無回答 3名(0.2%)

問3 あなたが現在住んでいるところはどこですか。

- 1 北海道 85(5.6%)
- 2 青森 10(0.7%)
- 3 岩手 17(1.1%)
- 4 宮城 20(1.3%)
- 5 秋田 11(0.7%)
- 6 山形 17(1.1%)
- 7 福島 20(1.3%)
- 8 茨城 27(1.8%)
- 9 栃木 19(1.3%)
- 10 群馬 18(1.2%)
- 11 埼玉 69(4.5%)
- 12 千葉 51(3.4%)
- 13 東京 152(10.0%)
- 14 神奈川 100(6.6%)
- 15 新潟 45(3.0%)
- 16 富山 20(1.3%)
- 17 石川 16(1.1%)
- 18 福井 13(0.9%)
- 19 山梨 10(0.7%)
- 20 長野 33(2.2%)
- 21 岐阜 17(1.1%)
- 22 静岡 51(3.4%)
- 23 愛知 75(4.9%)
- 24 三重 18(1.2%)
- 25 滋賀 25(1.6%)
- 26 京都 32(2.1%)
- 27 大阪 80(5.3%)

- 28 兵庫 66(4.3%)
- 29 奈良 17(1.1%)
- 30 和歌山 18(1.2%)
- 31 鳥取 9(0.6%)
- 32 島根 19(1.3%)
- 33 岡山 24(1.6%)
- 34 広島 44(2.9%)
- 35 山口 25(1.6%)
- 36 徳島 11(0.7%)
- 37 香川 11(0.7%)
- 38 愛媛 18(1.2%)
- 39 高知 11(0.7%)
- 40 福岡 64(4.2%)
- 41 佐賀 4(0.3%)
- 42 長崎 22(1.4%)
- 43 熊本 31(2.0%)
- 44 大分 23(1.5%)
- 45 宮崎 7(0.5%)
- 46 鹿児島 32(2.1%)
- 47 沖縄 9(0.6%)
- 48 上記以外 1(0.1%)
- 49 無回答 1(0.1%)

問4 あなたが社会福祉士資格を取得したのはいつですか。

- 平成 元年 10(0.7%)
- 平成 2年 11(0.7%)
- 平成 3年 28(1.8%)
- 平成 4年 27(1.8%)
- 平成 5年 37(2.4%)
- 平成 6年 31(2.0%)
- 平成 7年 40(2.6%)
- 平成 8年 70(4.6%)
- 平成 9年 81(5.3%)
- 平成10年 76(5.0%)
- 平成11年 105(6.9%)
- 平成12年 127(8.4%)
- 平成13年 129(8.5%)
- 平成14年 155(10.2%)
- 平成15年 160(10.5%)
- 平成16年 150(9.9%)
- 平成17年 129(8.5%)
- 平成18年 117(7.7%)

無回答 34(2.2%)

問5 あなたが社会福祉士の資格を取得しようと考えた動機は次のうちどれですか（複数回答可）。

- ①相談援助活動の重要性から 608(40.1%)
- ②福祉専門職の基礎資格として 1210(79.7%)
- ③スーパーバイザーの立場の確認 67(4.4%)
- ④新しい動きへの挑戦 351(23.1%)
- ⑤職場・学校で勧められて 137(9.0%)
- ⑥ライセンスの一つとして 441(29.1%)
- ⑦周りの者が取っているから 45(3.0%)
- ⑧その他 107(7.0%)
- ⑨無回答 10(0.7%)

問6 あなたの社会福祉士受験資格取得方法は次のうち、どれですか。

- ①福祉系大学等 727(47.9%)
- ②一般養成施設等 728(48.0%)
- ③行政職実務経験 39(2.6%)
- ④その他 22(1.4%)
- ⑤無回答 2(0.1%)

問7 あなたの最終学歴は、次の内どれですか。

- ①大学院 96(6.3%)
- ②大学（旧制大学） 1239(81.6%)
- ③短大（旧制高校） 65(4.3%)
- ④高等専門学校 6(0.4%)
- ⑤専門・専修学校 62(4.1%)
- ⑥高等学校（旧制中学） 42(2.8%)
- ⑦その他 7(0.5%)
- ⑧無回答 1(0.1%)

問8 あなたの社会福祉従事通算年数は、次のどれに当てはまりますか。

- ①0年（従事していない） 73(4.8%)
- ②3年未満 181(11.9%)
- ③3年以上5年未満 169(11.1%)
- ④5年以上10年未満 414(27.3%)
- ⑤10年以上15年未満 284(18.7%)
- ⑥15年以上30年未満 309(20.4%)
- ⑦30年以上 83(5.5%)
- ⑧無回答 5(0.3%)

問9 あなたは社会福祉士以外にどのような資格・免許をお持ちですか（複数回答可）。

- 1 弁護士 0(0.0%)
- 2 司法書士 1(0.1%)

- 3 行政書士 11(0.7%)
- 4 社会保険労務士 5(0.3%)
- 5 医師・歯科医師 0(0.0%)
- 6 看護師・准看護師 53(3.5%)
- 7 保健師 9(0.6%)
- 8 理学療法士 1(0.1%)
- 9 作業療法士 5(0.3%)
- 10 言語聴覚士 4(0.3%)
- 11 精神保健福祉士 186(12.3%)
- 12 介護福祉士 300(19.8%)
- 13 介護支援専門員 772(50.9%)
- 14 幼・小・中・高教諭 299(19.7%)
- 15 盲・聾・養護教諭 64(4.2%)
- 16 栄養士 14(0.9%)
- 17 保育士 119(7.8%)
- 18 児童自立支援専門員 5(0.3%)
- 19 手話通訳士 1(0.1%)
- 20 臨床心理士 6(0.4%)
- 21 その他・なし 508(33.5%)
- 22 無回答 34(2.2%)

Ⅱ. 勤務状況について

Ⅱ—1 現在の職場について

問10 あなたは現在働いていますか。

①はい 1411(93.0%) → 問11へお進み下さい。

②いいえ 99(6.5%) → 以下の問にお答え下さい。

問10-1 あなたは仕事を探していますか。

①はい 53(49.5%)

②いいえ 52(48.6%)

③無回答 2(1.9%)

問10-2 あなたはどのような仕事だったら就職しますか。

①社会福祉士の資格を活かせる仕事 50(46.7%)

②労働条件のあった仕事(労働時間、勤務形態) 34(31.8%)

③何でも良い 1(0.9%)

④その他 6(5.6%)

⑤無回答 16(15.0%)

③無回答 7(0.5%)

問27へお進みください。

問11 あなたの勤務先は次のどこにありますか。

①政令指定都市 249(17.5%)

②中核市 214(15.1%)

③①②以外の市 667(47.0%)

④特別区(東京23区) 109(7.7%)

⑤町村 161(11.3%)

⑥無回答 19(1.3%)

問12 あなたの現在の主となる就業先は次のどれにあてはまりますか。

1 救護施設 3(0.2%)

2 児童福祉関係施設 49(3.5%)

3 身体障害者福祉関係施設 41(2.9%)

4 知的障害者福祉関係施設 110(7.8%)

5 精神障害者福祉関係施設 14(1.0%)

6 老人福祉関係施設 279(19.7%)

7 介護老人保健施設 64(4.5%)

8 婦人保護施設 2(0.1%)

9 社会福祉協議会 121(8.5%)

10 老人介護支援センター 52(3.7%)

11 福祉事務所 24(1.7%)

12 医療機関 169(11.9%)

13 行政機関(国・都道府県) 25(1.8%)

14 行政機関(市区町村) 73(5.1%)

15 教育機関 81(5.7%)

16 民間の相談機関 21(1.5%)

17 一般企業 33(2.3%)

18 独立型社会福祉士事務所等 31(2.2%)

19 地域包括支援センター 150(10.6%)

20 その他 68(4.8%)

21 勤務先無し 1(0.1%)

22 無回答 8(0.6%)

問13 あなたが現在従事している主となる職種は次のどれですか。

1 相談員 351(24.7%)

2 判定員 3(0.2%)

3 ケースワーカー 39(2.7%)

4 児童自立支援専門員 2(0.1%)

5 指導員・生活指導員 146(10.3%)

6 査察指導員 5(0.4%)

7 児童福祉司 7(0.5%)

8 身体障害者福祉司 0(0.0%)

9 知的障害者福祉司 3(0.2%)

10 老人福祉指導主事 2(0.1%)

11 MSW 100(7.0%)

12 PSW 29(2.0%)

13 介護支援専門員 214(15.1%)

14 教職・研究職 75(5.3%)

15 介護職 95(6.7%)

16 事務職 155(10.9%)

17 学生 0(0.0%)

18 独立型社会福祉士 19(1.3%)

19 その他 164(11.6%)

20 無職 0(0.0%)

21 無回答 10(0.7%)

問14 あなたが従事している立場は次のどれですか。

①経営者・役員 65(4.6%)

②施設長・センター長 95(6.7%)

③管理職(②を除く) 255(18.0%)

④その他 997(70.3%)

⑤無回答 7(0.5%)

問15 あなたの主となる現在の勤務先の雇用形態は次のどれですか。

①常勤 1192(84.0%)

②非常勤(一般) 74(5.2%)

③非常勤(嘱託、顧問、参与等) 65(4.6%)

④パート(時間勤務) 33(2.3%)

⑤アルバイト(臨時) 10(0.7%)

⑥自営 29(2.0%)

⑦その他 9(0.6%)

⑧無回答 7(0.5%)

問 16 あなたの主となる現在の勤務先の勤務形態は次のどれですか。

- ①夜勤を含む交替勤務 161(11.3%)
- ②日勤のみ 1180(83.2%)
- ③その他 69(4.9%)
- ④無回答 9(0.6%)

問 17 あなたの現在のおおよその年収は次のどれにあてはまりますか。

- ①無収入 3(0.2%)
- ②100万円未満 54(3.8%)
- ③100万円以上 200万円未満 105(7.4%)
- ④200万円以上 400万円未満 626(44.1%)
- ⑤400万円以上 600万円未満 381(26.8%)
- ⑥600万円以上 800万円未満 163(11.5%)
- ⑦800万円以上 1000万円未満 55(3.9%)
- ⑧1000万円以上 17(1.2%)
- ⑨無回答 15(1.1%)

問 18 あなたは社会福祉士の資格を取得したことで勤務形態等が変化しましたか（複数回答可）。

- ①勤務先が変わった 150(10.6%)
- ②勤務先内で職場が変わった 82(5.8%)
- ③勤務先内で職名が変わった 63(4.4%)
- ④給与が増加した 79(5.6%)
- ⑤資格手当がついた 192(13.5%)
- ⑥特に変化はない 741(52.2%)
- ⑦資格取得後に就職した 261(18.4%)
- ⑧わからない 38(2.7%)
- ⑨無回答 13(0.9%)

問 19 あなたの現在の職場における社会福祉士資格の採用条件はどのようになっていますか。

- ①採用条件に入っている 443(31.2%)
- ②採用条件に入っていないが、今後入る可能性がある 240(16.9%)
- ③採用条件に入る可能性がない 372(26.2%)
- ④今後のことはわからない 336(23.7%)
- ⑤無回答 28(2.0%)

問 20 あなたの現在の主要な業務は社会福祉士としての専門性を活かした業務（活動）内容となっていますか。

- ①専門性が活かされている 633(44.6%)
- ②専門性を活かされていない 291(20.5%)
- ③どちらともいえない 480(33.8%)
- ④無回答 15(1.1%)

問 21 社会福祉士資格取得後の現在の職場における在職年数は何年ですか。

- ①1年未満 282(19.9%)
- ②1年以上3年未満 395(27.8%)
- ③3年以上5年未満 289(20.4%)
- ④5年以上10年未満 326(23.0%)
- ⑤10年以上 108(7.6%)
- ⑥無回答 19(1.3%)

問 22 あなたの現在の職場に対する満足度についてお答え下さい。当てはまる欄に○をつけて下さい。

項 目	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
A 現在の仕事の内容	22.4%	38.8%	20.9%	11.2%	5.5%	1.3%
B 賃金や各種手当	11.4%	20.5%	21.1%	24.9%	20.8%	1.3%
C 労働時間や勤務形態	24.5%	28.8%	21.8%	15.6%	7.8%	1.6%
D 福利厚生	15.6%	22.6%	31.4%	16.1%	11.7%	2.6%
E 施設運営やサービス方針	10.3%	21.5%	32.6%	20.5%	12.2%	3.0%
F 人材育成や研修機会	10.5%	23.2%	23.2%	25.2%	15.6%	2.3%
G 職場の人間関係	20.9%	34.2%	26.2%	10.3%	6.6%	1.8%
H 職場全体について	13.6%	32.0%	30.9%	14.7%	7.2%	1.6%

Ⅱ—2 転職について

問 2 3 あなたは社会福祉士の資格を取得して関係業務に従事後に転職したことがありますか。

- ①はい 450(31.7%)
- ②いいえ 967(68.1%) → 問 2 7 お進み下さい
- ③無回答 2(0.1%)

問 2 4 あなたの社会福祉士資格取得後の転職回数は何回ですか。

- ①1回 288(62.6%)
- ②2回 125(27.2%)
- ③3回 26(5.7%)
- ④4回 10(2.2%)
- ⑤5回以上 5(1.1%)
- ⑥無回答 6(1.3%)

問 2 5 あなたの主な転職理由は何ですか(複数回答可)。

- ①解雇、倒産、事業閉鎖 20(4.3%)
- ②結婚、出産等家庭の事情 61(13.3%)
- ③労働条件、処遇に不満 148(32.2%)
- ④職場の人間関係 77(16.7%)
- ⑤他に良い仕事が見つかった 172(37.4%)
- ⑥その他 133(28.9%)
- ⑦無回答 8(1.7%)

問 2 6 あなたが社会福祉士資格取得後に前職場を辞めてから現職場に就職するまでの期間はどのくらいありましたか。

- ①1年未満 363(78.9%)
- ②1年以上3年未満 59(12.8%)
- ③3年以上5年未満 17(3.7%)
- ④5年以上 9(2.0%)
- ⑤無回答 12(2.6%)

Ⅲ. 研修等について

問 2 7 あなたが最近1年間に参加した研修の回数は次のどれにあてはまりますか。

- ①0回 222(14.6%)
- ②1回 163(10.7%)
- ③2回 228(15.0%)
- ④3回 228(15.0%)
- ⑤4回から6回 344(22.7%)
- ⑥7回以上 320(21.1%)
- ⑦無回答 13(0.9%)

問 2 8 あなたは最近1年間にどのような内容(テーマ)の研修を受けましたか(複数回答可)。

- ①面接技術 294(19.4%)
- ②スーパービジョン 184(12.1%)
- ③権利擁護 592(39.0%)
- ④ケアマネジメント 480(31.6%)
- ⑤社会福祉援助技術 329(21.7%)
- ⑥福祉経営 169(11.1%)
- ⑦地域福祉計画 145(9.6%)
- ⑧専門単位毎の研修 152(10.0%)
- ⑨ネットワーキング 152(10.0%)
- ⑩受講していない 147(9.7%)
- ⑪その他 544(35.8%)
- ⑫無回答 79(5.2%)

問 2 9 あなたは次の専門分野別研修(計画中等含む)を受けたいと思いますか(複数回答可)。

- ①現場実習指導者養成研修 272(17.9%)
- ②独立型社会福祉士養成研修 295(19.4%)
- ③成年後見人養成研修 615(40.5%)
- ④保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修 458(30.2%)
- ⑤障害者の地域生活支援研修 425(28.0%)
- ⑥高齢者・障害者・低所得者の就労を支援する人材養成研修 343(22.6%)
- ⑦高齢者・障害者・児童の虐待対応研修 559(36.8%)
- ⑧その他、開講を希望する専門研修があればお書き下さい 149(9.8%)
- ⑨無回答 128(8.4%)